

平成30年度 編入学（第2次）試験問題

小論文

（90分）

医学群 医療科学類

「試験開始」の合図があるまで、この表紙を開けないこと。

以下の注意事項をよく読みなさい。

1. 「試験開始」の合図があったら、問題用紙、解答用紙、下書き用紙の枚数を確かめなさい。

問題用紙	6枚（表紙を除く）
解答用紙	5枚
下書き用紙	2枚

2. 配られたすべての解答用紙に氏名と受験番号を記入しなさい。
3. 解答は所定の解答用紙に、特に指定のない限り日本語で記入しなさい。
4. 解答用紙のホッチキスはずすこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ること。解答用紙はすべて回収するので持ち帰らないこと。

問題

以下の文章を読み、問1から問9に答えなさい。

These authors suggest a few reasons for these results. First, the authors argue that the young men may not have learned that sex is the way to get a woman into an intimate relationship. They suggest that these young men may have learned that sex is necessary for a relationship, but not that sex is the way to get a woman into a relationship. They argue that this may be the result of the fact that the authors did not measure the young men's knowledge of the relationship process. Second, the authors suggest that the young men may not have learned that sex is the way to get a woman into a relationship. They argue that this may be the result of the fact that the authors did not measure the young men's knowledge of the relationship process. Third, the authors suggest that the young men may not have learned that sex is the way to get a woman into a relationship. They argue that this may be the result of the fact that the authors did not measure the young men's knowledge of the relationship process.

[illegible]

[illegible][illegible]

...the ...
...the ...
...the ...
...the ...
...the ...
...the ...
...the ...
...the ...

...the ...
...the ...
...the ...
...the ...

問 1 カンジダ感染について、下線部（１）に関する取り組みとして、どのようなものがあるか、本文に即して答えなさい。

問 2 下線部（２）の“opportunistic pathogen”とは何か。120 字程度で具体的に説明しなさい。

問 3 カンジダに関する次の記述のうち本文中の内容に一致するものをすべて選び、記号で答えなさい。

- (a) 世界人口のおよそ 40%に粘膜表面の感染がある。
- (b) 侵襲性の感染症は、粘膜表面の感染に比べて頻度が高い。
- (c) 妊娠可能な年齢の女性の約半数またはそれ以上が、毎年 4 回以上の“thrush”を発症する。
- (d) HIV/AIDS やその他の要因により、毎年口腔で 1 千万例、食道で 2 百万例の“thrush”が発症する。

問 4 下線部（３）は、カンジダ感染症に関する研究においてどのように役立つか、本文に即して答えなさい。

問 5 ヒトの免疫機構がカンジダ感染症に対して十分に効果を発揮できない理由を本文に即して答えなさい。

問 6 下線部（４）について、その理由を本文に即して 150 字程度で説明しなさい。

問 7 下線部 (5) について、カンジダをはじめとする真菌による感染症を将来減らしていくために、早期診断以外にどのような取り組みがなされているのか、本文に即して説明しなさい。

問 8 カンジダ感染症が近年大きな問題となりつつある理由を、医療の発展と関連付けながら本文に即して説明しなさい。

問 9 本文中にある次の手法について、原理とその意義を説明しなさい。必要に応じて図を用いても良い。

(1) PCR

(2) CRISPR Cas9